〈第５回〉

2021 NAGANO 国際音楽祭 in 白馬

「生きよう！明日を信じて！」

20年余長野の地から沢山の演奏家を育ててきた「NAGANO国際音楽祭」
今年は、コロナ禍「生きよう！明日を信じて！」と題して
医療に従事されている医師や看護師、医療関係者
コロナにかかって苦しむ患者のみなさま
コロナと闘う全ての人々にエールを贈る音楽祭を開催いたします。
世界に馳せる日を信じて、日々切磋琢磨する若手演奏家達も各地から集いました。
みなさまお揃いで演奏会をお楽しみください。

8月5日㈭

18時開場／18時30分開演

出演：指揮・ヴァイオリン：澤 和樹（東京藝術大学学長）
ヴァイオリン：フェデリコ・アゴスティーニ、中澤きみ子、野口千代光 他
ピアノ：碓井俊樹
2021NAGANO 国際音楽祭マスタークラス受講生

会　場：白馬ウィング 21 文化ホール

入場料：[全席自由] 2,000 円（小中高校生無料）

（※密集を避けるため、原則隣席を空けた座席配置となります。）

チケットのお求め：アンプロムプテュ白馬 / 白馬ウィング 21 / 道の駅白馬 /
太田薬局 / 明寿堂 / 喫茶店ぷぅ / クリーニングのアピア（A-Coop）
北村時計店（小谷村）/ 一輪の花（小谷村）

■主催：NAGANO 国際音楽祭 in 白馬実行委員会　お問合せ：直通 0261-85-4760
■共催：白馬村、白馬村教育委員会、(一社)長野芸術文化振興協会　■後援：白馬村観光局、JR東日本長野支社
■制作協力：(株)日本ヴァイオリン、Hakuba Music Support Association、白馬ケーブルTV

■新型コロナウィルス感染防止の為別紙諸注意事項を必ずご確認ください。

■主な演奏者プロフィール：

澤　和樹（東京藝術大学学長）
音楽監督、指揮、ヴァイオリン＆ヴィオラ、弦楽アンサンブル指導

1979 年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニアフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。'80 年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジョージ・パウク、ベラ・カトーナ両氏に師事。'84 年東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始。'89 年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。'96 より指揮活動を開始。2004 年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て 2016 年 4 月より東京藝術大学長に就任。英国王立音楽院名誉教授。響ホール室内合奏団ミュージックアドヴァイザー。千里フィルハーモニア・大阪常任指揮者。和歌山県立図書館音楽監督。

中澤きみ子 / ヴァイオリン

国際的に活躍するヴァイオリニストとして、特にモーツァルトの演奏では評価が高い。また、聴衆の心に深く響く演奏は、多くのファンの支持を得ている。新潟大学を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院にて研鑽を積み、2000 年に文化庁芸術家海外派遣員としてウィーンに留学。その後国内外のオーケストラと多数共演。リサイタルも浜離宮朝日ホール、読売ホール、Hakuju ホール等で毎年開催している。CD も数多くリリース。特にモーツァルトの「ソナタ全集」(ピアノ : イェルク・デムス) 及び協奏曲全集 (フィリップ・アントルモン指揮・ウィーン室内管弦楽団) 等が高い評価を受けている。また、国際コンクールの審査員や、国際音楽祭の講師として数多く招聘されている。尚美学園大学、同大学院客員教授、上野学園大学客員教授を歴任。震災後、ライフワークとして TSUNAMIヴァイオリンの演奏にも熱心に取り組む。使用楽器：ストラディヴァリウス「ダ・ヴィンチ」（宗次コレクションより貸与）

フェデリコ・アゴスティーニ / ヴァイオリン

元イ・ムジチ合奏団コンサートマスター、イーストマン音楽大学教授イタリアのトリエステ生まれ。音楽家の家庭に育ち、 6 歳からヴァイオリンのレッスンを始め、トリエステとベネチアの音楽院、さらにシエナのキジアナ音楽院 で学び、サルバトーレ・アッカルドや叔父にあたるフランコ・グッリらに師事した。16 歳でモーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー、数多くのコンクールに優 勝・入賞し国際的に輝かしい活動を開始する。I Virtuosi di Roma に在籍後、1986 年からはイ・ムジチ合奏団のコンサートマスターを務め、そのかたわらソリストとして世界有数のホールに登場、また 1987 年からローマ・フォーレ五重奏団のメンバーとしても活躍した。ドイツ・トロッシンゲン音楽大学で教鞭をとった後、現在はアメリカ・インディアナ大学ブルーミントン校の教授を務める。指導者としても定評があり、日本、スウェーデン、イタリアなどでマスタークラスを開催している他、世界各地の音楽祭に招聘されている。

野口 千代光 /ヴァイオリン

東京藝術大学在学中にジュリアード音楽院へ留学。ジュリアード・コンチェルトコンペティション優勝。アーティスト・インターナショナルオーデション優勝、ヤングアーティスト・デビュー賞を受賞。カーネギー・ワイルホールにおいてニューヨークリサイタルデビュー。ジュリアード音楽院卒業後、東京藝術大学に復学し首席で卒業。ヴィニアフスキ国際ヴァイオリンコンクール特別賞受賞。東京オペラシティ主催のリサイタルシリーズ「B→C」に出演。ソリストとして国内外のオーケストラと共演する傍ら、在京オーケストラのゲストコンサートミストレス、アンサンブル・コルディエ（旧東京ゾリステン）コンサートミストレス、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバーとして活動している。また現代音楽の演奏にも力を入れており、アンサンブル・ノマドのメンバーとして数多くの現代作品の演奏を行っている。
現在、東京藝術大学音楽学部教授、日本大学藝術学部客員教授、桐朋学園芸術短期大学講師。

碓井 俊樹 / ピアノ

東京藝術大学附属音楽高等学校および同大学を経て、ザルツブルク・モーツァルテウム芸術大学で研鑽を積む。ヴィオッティ国際音楽コンクール入賞、オランダミュージックセッションにてドネムス演奏賞（現代音楽最優秀演奏賞）、ウィーン現代前衛芸術団体 TAMAMU より現代芸術特別賞、カントゥ国際音楽コンクール優勝など数多くの受賞歴を誇り、各国の国際音楽祭出演を通じて世界的な演奏家と数多く共演。国内外のオーケストラのソリスト、国際音楽コンクールの審査も務め、ウィーンを拠点に 40 カ国以上にて演奏活動を行ってきた。一般社団法人横浜シンフォニエッタ代表理事、日本香港音楽協会理事長（香港）、平成 29 年度外務大臣表彰を受賞、2019 年ジョージア共和国シグナギ市名誉市民を受賞、おんぷの祭典音楽監督、上野学園大学客員教授、一般社団法人長野芸術文化振興協会音楽監督。

2021NAGANO 国際音楽祭・マスタークラス受講生　（写真は 2019 年度）